

森・盛・オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

大好評の試食タイム！ ＝森林の魅(味)力を感じよう！＝

5月28日(日)、オホーツクの森で山菜アドバイザーの工藤森生氏を講師としてお招きし、「森林の魅(味)力を感じよう！」を開催しました。

この催しは、昨年から国民の祝日となった「山の日」の制定の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。」をテーマとして実施したもので、北見・美幌・遠軽・津別から20名の参加がありました。



講義の様子

工藤講師からは、「山菜採取は欲との闘いであり、『たくさん採りたい(物欲)』、『他の人に知られたくない(独占欲)』、などを捨て去ることが大切。自分で食べる分だけを丁寧に採取することで調理も楽であり、新鮮な山菜はアクも少なくおいしく食べられる。」との話がありました。

その後、「森の家」の周辺でタンポポ、ヨモギ、ヨブスマソウ、セリなどの食べられるもの、クサノオウ、バイケイソウ、エゾノレイジンソウ(トリカブトの仲間)などの食べられないもの(毒草)を学びながら試食用の山菜を採りました。

試食タイムでは、採りたてのウド・ミツバ・ヨモギ・ヨブスマソウ・クサソテツなどを塩を入れたお湯でシャブシャブし、マヨネーズや味噌などのタレで「山菜シャブシャブ」を食するとともに、そのお湯で茹でたパスタをオリーブオイルと塩こしょうで味付けした「山菜パスタ」を堪能しました。

「ヨブスマソウは、初めて食べたけど食感が最高！」や「タンポポ(花)のシャブシャブは、色もきれいでおもしろい。」「今日の夕食は山菜パスタ。」などの声が聞こえました。



「山菜パスタ」

午後からの森林散策は、遠くで雷の音が聞こえ黒い雲が近づいてくる中、少し予定時間を繰上げ雨に当たることなく終了しましたが、参加者の手元にはお土産の山菜がしっかりと…。

オホーツクの森をPR

= 森へおいでよ！パネル展 =



竹とんぼ作りの様子

5月17～21日、北見市緑のセンターで、当センターと森林ボランティア「オホーツクの会」の共催により、「森へおいでよ！パネル展」を行いました。

このパネル展は、北見園芸協会の実施する「春の園芸祭」に合わせて行っているもので、会場では園芸協会による苗木や庭木類等の販売や「きたみ盆栽・山野草同好会」による展示会も催され、多くの来館者がありました。

当センターと「オホーツクの会」では、それぞれの活動を紹介するパネルを展示するとともに、「オホーツクの会」の会員が作ったクラフト作品や炭焼き体験で作った化粧炭等も展示しました。

また、20日（土）・21日（日）には、竹とんぼや枝笛作り、マツボックリ等を使ったクラフト体験、緑ヶ丘公園の散策会などを行い、森林の役割やすばらしさをPRしました。

クラフト体験では「昨年も作らせてもらって、玄関に飾っています。」「森にある材料だけで、こんなに楽しめるんですね。」「かわいいイヌができました！。家に飾ります。」などの感想が寄せられていました。

大人限定の枝笛作りでは、ドリルでの穴空けを失敗したり、音が出ずに苦労していましたが、「ピー！」という音がでた瞬間の喜びと驚きの顔が印象的でした。

なお、当センターと「オホーツクの会」では、秋（10月上旬頃）にも、パネル展を開催する予定です。



クラフト体験の様子

常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3

【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

